

岐阜県代協ニユ

平成24年12月

vol.213



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『2012年を振り返って』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 こんどう しんご 近藤 信悟

保険大学校13期生の皆さん、日本代協認定保険代理士の認定おめでとうございます。2年間にわたる通信教育、セミナーを受講され試験に合格された17名の皆さんに心から祝福したいと思います。認定授与式は1月17日(木)、グランヴェール岐山で開催します。皆さまの出席をお待ち申し上げます。



さて、11月は行事満載で詳しくお知らせすることができなかったものの一つに、11月14日ふれあい会館で行われた消費者団体との情報交換会があります。

消費者団体からは 岐阜県県民生活相談センター所長 梶田女理子様、消費生活相談員 市川ひろみ様、岐阜市消費生活センター消費生活課長 大野聡様、3名のご参加のもと情報交換会を行い、消費者の苦情についてお話を伺いました。消費者の苦情ならびに原因を踏まえ、代理店・保険会社に求められるものは商品のしっかりとした説明が必要であるし、もっとシンプルな保険の仕組み、商品のパンフレット等もっと解りやすいものが望まれている。

ただ、今回の情報交換会のために苦情件数を拾ってみたところ意外に少ないと感じられたとのこと。それと比べ生命保険についての苦情については最近特に外貨建て保険に対してが多く、銀行で販売している保険についても年配の方から貯蓄目的で加入し苦情が発生しているとの情報も頂きました。

(CSR委員長 松山和由の報告より抜粋)

また、今月12日には独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)の加藤所長様が来局され、介護料の支給、自動車事故による被害者の方への援護事業、療護施設の設置・運営、安全マネジメントなどの説明をうけ、一般消費者への周知協力を依頼されました。我々代理店にとっても有益なお話であり、今月号の最終頁にて若干の説明を掲載してありますが、今後詳しくお知らせいたします。

5月に就任以来、会員の皆様・役員の皆様・他多くの方にお支えを頂き、本年の例年行事を無事遂行することができました。多大なるご協力、ありがとうございました。

現在、企画環境委員会においては、今後賛助会員制度の見直し、進めては収益事業制度を60数年の歴史において、初めて確立しようと頑張ってくれています。また、組織委員会においては「国民年金推進キャンペーン」で、11月末富山・福岡に続き目標を達成いたしました。会員、役員一丸の結束を感じ感謝の気持ちでいっぱいです。

会員の皆様のご研鑽と、協会としての各委員会や各支部の活動のさらなる活性化をめざしたいっそうのご活躍で2013年を大いなる飛躍をとげる年にしていましましょう。

みなさん、よいお年をお迎え下さい。

目次

1 p	・ 会長挨拶／目次	9 p	・ 中さんの保険諸国慢遊記 (80)	①
2 p	・ スケジュール／事務局より	10 p	・ ～保険ジャーナリスト 中崎章夫 ～	②
3 p	・ 日本代協報告	11 p	・ 『街道シリーズ』(中山道 4)	松尾 一
4 p	・ 支部活動報告①	12 p	・ SHINWA グループ	
5 p	・ 支部活動報告②	13 p	・ 損害事故復旧サービス～ホームステップ(株)竹ダ～	
6 p	・ 委員会報告	14 p	・ 交通事故による損害復旧工事～(有)岐垣創建～	
7 p	・ 代理店紹介	15 p	・ ご存知ですか?・・・NASVA	
8 p	・ 会員投稿			

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
12	11	火	岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	12	水	中濃支部	例会(10:30～)	中山道会館太田宿
	13	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	20	木	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター
	21	金	飛騨支部	役員会(13:00～)	ひだホテルプラザ
1	9	水	中濃支部	新年会(11時～)	昇月
	10	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	17	木	県代協	認定証授与式、賀詞交歓会(11:00～)	グランヴェール岐山
	17	木	県代協	三役会(15:00～)	グランヴェール岐山
	17	木	組織	委員会(10:00～)	グランヴェール岐山
	17	木	岐阜支部	役員会(10:00～)	グランヴェール岐山
	18	金	西濃支部	新年会(18:00～)	一天張
	25	金	東海ブロック	東海ブロック会議(15:00～)	日新火災静岡支店会議室
2	5	火	企画環境	委員会(予定)	サイゼリア(予定)
	6	水	CSR	委員会(13:30～)(予定)	岐阜県代協事務局(予定)
	6	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	8	金	組織	新入会オリエンテーション((13:00～)	長良川スポーツプラザ
	13	水	中濃支部	例会(10:30～)	中山道会館太田宿

～ 事務局より ～

※ 岐阜県代協事務局 年末、年始の営業日について

年末 平成24年12月 28日(金)まで 年始 平成25年 1月 7日(月)より

ご迷惑をお掛け致しますが、よろしくお願い申し上げます。

< 急用の方は 090-3556-4111 小西、または 090-3568-0415 森 まで >

※日本代協保険代理士認定授与式について、既にFAXなどにてご案内申し上げました通り、平成25年1月17日(木)11:00～ グランヴェール岐山 鳳凰にて日本代協保険代理士認定証授与式および賀詞交歓会を開催いたします。

駐車場につきましては、開催場所のグランヴェール岐山の東側にありますレンガ立体駐車場KOYOENパーキングをご利用いただくと駐車料金の割引がございます。

その際には駐車券を機械処理のためフロントまでお持ち下さい。

なお、詳しい場所がわかりでない方は岐阜県代協事務局に案内図がございますのでご連絡ください。

岐阜県代協事務局 TEL : 058-294-1221

FAX : 058-294-8051

Eメールアドレス : gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp (担当: 小川百合子)

日本代協ニュース

☆ 代協正会員増強目標達成に向けて ～ 全国一斉「正会員2月入会キャンペーン」～

4月～11月末現在での正会員は11,289店と平成24年3月末から▲181店、目標12,000店に対し▲711店のビハインドにあります。そこで、第6回理事会において、2月に全国一斉キャンペーンを実施し、『本年度こそ目標12,000店を必ず達成する』ことが決議されました。

日本代協グループ総力を挙げ、すべての代協での目標達成に向けて早めの推進を図り、強力な取組みをお願いいたします。

■期間 平成25年2月1日（金）～28日（木）1ヶ月間

■必達目標 427店（岐阜県代協の目標＝8店）

☆ 認定保険代理士13期752名が誕生！ ～ 累計で10,000名の大台を突破～

日本代協保険大学校を修了し、認定試験に合格して認定基準を充足し、資格審査委員会・審査をパスした者が日本代協認定保険代理士として認定されますが、今回、平成25年1月1日付で第13期日本代協認定保険代理士として752名が認定されることとなりました。

これにより、認定保険代理士は累計で10,181名となり、ついに10,000名の大台を突破しました。なお、認定証授与式は、全国各地の代協にて1～2月にかけて実施されます。

☆ 全国一斉「国民年金基金加入推進C/P」報告 ～ 12月10日（月）現在の確定結果～

「国民年金基金加入推進キャンペーン（全国目標＝270名）」を11月単月で全国一斉に実施しましたが、残念ながら、目標は未達成となりました。その中で、富山・福岡・岐阜の3代協が見事目標達成されました。誠にありがとうございます。

なお、年度目標に対しても225名の積み残しがあります。3月末までに、今後の更なる推進をお願いします。

【目標達成代協】 富山(3) 福岡(7) 岐阜(5)

【11月・加入者獲得代協】 16代協 35名

青森・山形・新潟・東京・愛知・岐阜・富山・滋賀 京都・奈良・大阪・広島 山口・福岡・宮崎・熊本

☆ ～第33次 太平洋保険学校～Pacific Insurance Agents Seminar

米国研修(PIAS)参加者募集開始！

6月13日(木)～6月21日(金) 9日間 (研修旅行費用) 355,000円

★お申し込みは日本代協事務局へ★

日本代協ニュース第258号（平成24年12月20日発行）より抜粋

支部活動報告

【岐阜支部 12月役員会報告】

開催日時 : 平成24年12月11日(水) 12:00～ 開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏
出席者数 : 11名 報告者名 : 岐阜支部長 川島邦夫

《議題》

- ①会員増強について……11月に見込み代理店に役員3名でアプローチしたが、今すぐの入会は難しいとのこと。
引き続き見込み代理店増加に努める
- ②新春研修会・懇話会について……開催日時は2/15・16 15:00開始。
前回の「研修会のみ：無料、懇話会：5,000円、懇話会＋宿泊：8,000円」を値下げし、
より多くの懇話会出席者・宿泊者を募る
(タクシーや代行で帰るよりも、宿泊した方が安いくらいの価格設定に)
- ③県からの報告……今後のスケジュール 12/20 理事会、1/17 賀詞交歓会、2/8 新入会員オリエンテーション、
2/25 前後代理士広告(なるべく最近の写真を使用)、3月上旬 地震保険キャンペーン
- ④その他……コンベンション参加者の報告。
貴重な経験を役員会・懇話会・ブロック会等で会員全体で共有できるようにする。
C S R : エコキャップが14,147個集まり、16.5人分のワクチンになった。
今後は岐阜県代協が集めたという点をアピールしたい。
その為に各代理店・保険会社・顧客宅にも回収ボックスを設置したい。
それにより、アピールだけでなく、代理店がブロック会に参加するきっかけや、
募集人が顧客先へ訪問するきっかけにもなる
企画環境 : 代理店賠償未加入代理店を11件ピックアップ。
各代理店に担当者をつけ、加入意思や加入しない理由を確認する

※次回役員会は 平成25年 1月17日(木) 10:00～ 場所 グランヴェール岐山にて

【西濃支部 12月例会報告】

開催日時 : 平成24年12月 5日(水) 12:00～13:00
開催場所 : 大垣「鶴見天近」 参加者数 : 16名 報告者名 : 小林 悦雄

《議題》

- ①新入会員紹介 畦地副会長より
ジャパン保険相談センター 松井 怜子様の紹介
- ②委員会報告
 - ・企画環境 : 悪質住宅修理業者について、浜松商工会集団扱いについての報告
 - ・教育 : 1) 平成24年度公開セミナーの報告
平成24年11月 8日(木) 13:30 「今、わたしたちにできること」武田邦彦講演会
会員のほか愛知代協、三重代協、静岡代協、保険会社、一般の方等270名の参加
2) 13期保険代理士認定授与式 賀詞交歓会
平成25年1月17日(木) 午前11:00より グランヴェール岐山にて
 - ・CSR : 消費者団体情報交換会参加の報告
平成24年11月14日(水) 県民ふれあい福寿会館にて
 - ・組織 : 会員増強についてお願い
- ③研修旅行の報告
平成24年11月11日(日)～12日(月) 16名の参加
松本城、味噌蔵見学、酒造店見学、をして長野戸倉上山田温泉泊
翌日、善光寺詣り、リンゴ園を回ってきました。

④日本代協コンベンション参加の報告

平成24年11月16日(金)～17日(土) 第一ホテル東京にて

県代協より8名参加 西濃支部より(有)カワイ保険サービス 河合徳彦様参加

⑤ゴルフ同好会コンペの報告

ぎふ美濃カントリーにて 平成24年11月16日(金) 16名参加

⑥その他各社の動向

⑦西濃支部新年会のご案内

平成25年1月18日(金) 18:00より 場所 一天張にて 会費¥5000

※次回例会は 2月6日(水) 12:00～ 場所 鶴見天近

【中濃支部12月例会報告】

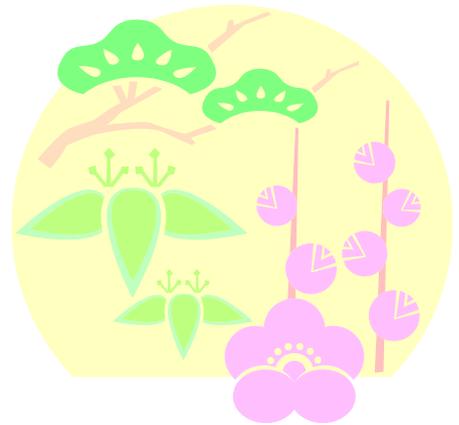
開催日時 : 12月12日(水) 10:30～ 開催場所 : 中山道会館 太田宿

参加代理店 : 13名 (出席率59%) 報告者 : 福地 誉

《内容》

- ①□ fabrica様より、業務内容の説明
- ② 教育委員会より、賀詞交歓会ならびに認定授与式について。
資格更新ならびにコンサルティングコース申込みの増強について
- ③ 組織委員会より、新入会員オリエンテーションについて。
各支部、定例会への出席率アップのためのフォローについて
- ④ 企画、環境委員会より、適切な保険募集環境について。
巡回業者の情報を、保険会社と共有できないか。
- ⑤ 国民年金基金加入増強について。
- ⑥ 新年会は、1月9日(水) 11時より昇月にて開催します。

※次回例会は 2月13日(水) 10:30～ 中山道会館太田宿にて
定例会を開催しますので多数の参加をお願いします。



【東濃支部12月例会報告】

開催日時 : 平成24年12月13日(木) 11:30～ 開催場所 : みわ屋 瑞浪市釜戸町

参加者数 : 8名 報告者名 : 中山 幸士

《内容》

- ①1月17日(木) 認定授与式・賀詞交歓会 参加の案内
- ②エコキャップ回収
- ③中津川地区にあやしい修理業者のチラシ配布がありました。

※1月定例会は、平成25年1月103日(木) 11:30～「みわ屋」にて開催予定

【飛騨支部活動報告】

○飛騨支部 役員会予定

開催日時 : 平成24年12月21日(金) PM1:30～

開催場所 : ひだホテルプラザ 1階 喫茶室 報告者名 : 馬場 浩之

《内容》

- ①理事会報告
- ②賀詞交歓会について
- ③新入会員オリエンテーションについて
- ④飛騨支部新年会について
- ⑤その他

※詳細につきましては来月報告致します。

委員会報告

【組織委員会】

●新入会員の紹介●

西濃支部 : (株) ジャパン保険相談センター 代申 損保ジャパン
代表者 松井 玲子 様

〒501-6232

岐阜県羽島市竹鼻町狐穴 3321-5

TEL 058-391-6809

FAX 058-391-6832

(平成 24 年 11 月 21 日入会)

紹介者 (有) あぜち保険事務所 畦地 正治 様

【教育委員会】

《日本代協保険代理士認定授与式について》

すでに皆様にご案内を申し上げましたが、第 1 3 期認定保険代理士の合格を祝し、認定授与式を下記の通り行います。

保険代理士を広く認知していただくために保険会社各社、賛助会員の皆様からも授与式にご出席賜り、われわれ会員と共に祝福したいと存じます。

認定者の皆様方は全員出席の程お願いいたします。

記

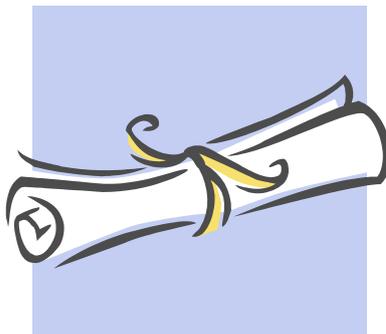
日 時 : 平成 2 5 年 1 月 1 7 日(木) 1 1 : 0 0 から

場 所 : グランヴェール岐山

認定対象者数 : 1 7 名

なお、ホテル東側にありますレンガ立体駐車場KOYOENパーキングをご利用いただくと駐車料金の割引がございます。その際には駐車券を機械処理のためフロントまでお持ち下さい。

(報告者 教育委員長 山谷 庸二)



代理店紹介

飛驒支部 合同会社 YMK 総合保険

<代理店名>

(合同) YMK 総合保険企画

<事務所所在地>

〒506-0807

高山市三福寺町 1535-51

TEL 0577-34-4321

FAX 0577-62-8989

E-mail ymk-3.14@rose.ocn.ne.jp

<代表者名>

熊木 千夏 (くまき ちか)

<スタッフ>

8名 (男 6名 女 2名)

委任型募集人 2名

共同募集代理店 3店

<取扱保険会社>

損保 日本興亜損害保険(株) 計 1社

生保 NKSJ ひまわり生命保険(株) 計 1社

<略歴>

昭和40年10月 先代が(有)五光商事設立

平成7年4月 代理店クマキ事務所開設

平成19年5月 (合同) YMK 総合保険企画設立 (法人化)

<企業理念>

- ・事業目的を達成するために、継続的・計画的に意思決定を行って実行・・・
- ・常に勉強を意識し、業務に積極的に行動・・・
- ・毎日自分に目標を課し、確実に実行できる・・・

<経営理念>

お客様から信頼され、愛される代理店を目指しています。

(地域に貢献できる代理店づくり・・・)

<行動指針>

- ・業務に関して粗雑な面はなく、信頼できる
- ・自分に不利益になる事柄に対して嘘をつくことなく隠さず報告できる
- ・仕事には守秘義務がある、外部に会社の情報を漏らさない
- ・大小に関わらず不正と思われる行為は絶対にしない



会員投稿記事



ボクシングに魅せられて…



みなさんはボクシングが好きですか？ 小学生の頃から、親父さんがテレビで見ていたボクシングにすっかりはまっていました。日本ではファイテング原田、大場政夫、海老原博幸、西城、柴田が活躍していた時代です。その後に輪島功一やガッツ石松などがリングを盛り上げて、テレビの視聴率も十分取れていました。

ボクシングと言えばやはりヘビー級です。ボクシングのヘビー級チャンピオンが世界最強の男と言われた時代。フロイドパターソン → ソニーリントン → カシアスクレイ → ジョーフレージャー → ジョージフォアマンとチャンピオンが代わり、いよいよフォアマンの時代の幕開けとなると思われていました。



フォアマンはほとんど全ての試合を2ラウンド以内に相手をマットに沈めてきました。そこに挑戦の名乗りあげたのは元チャンピオンのモハメッドアリです。

アリは徴兵を拒否してタイトルを剥奪されて、30歳を越えてブランクもあり、全盛期を過ぎていました。

かたや登り坂のフォアマン。アリが苦戦したフレージャーやケン・ノートンをあっさりノックアウトで破ってきていました。誰がどうみてもアリの勝つ可能性は薄かった。

しかしアリの陣営には策士と言われたアンジェロダンディーという名伯楽がついていました。ダンディーの作戦は長い時間闘ったことのないフォアマンのスタミナを奪う作戦でした。

ロープを緩くしていたのもその作戦のうちです。試合が始まってすぐに蝶のように舞うアリのステップは見られずロープを背にしてフォアマンにボディを打たせるだけ打たせる。アリは両手でガッチリアゴを固めて覗き見をしながら時々小さなパンチを出す。ロープアドープと言われた作戦です。

打たせてクリンチしながらフォアマンの体力を奪い、明らかにフォアマンのパンチに力がなくなってきた8ラウンドに一気に頃をみたアリが襲いかかる。フォアマンが夢遊病者のように宙を舞いダウン。信じられない光景でした。ホラ吹きクレイは誰もがザイルのキンシャサのマットを舐めると言われていたのに舐めたのは無敗のフォアマン…。世紀の大判狂わせ、と言われました。

ともあれこの試合でボクシングの魅力にすっかり痺れてしまいました。単なる殴りあいではなく緻密な作戦と過酷な減量。そして罵りあった互いが試合後に抱き合うシーン。今なお日本のボクシングが人気のあるのはこういうことがあるからです。45年経った今でもボクシングに魅せられます。



(投稿者名：ボクシング狂)

実質赤字から脱却できず改革新局面の2012年 収益確保に新たなコスト削減策も

◇食の街広島に行く

12月に広島を訪ねる機会を得た。広島で尊敬してやまないグルメ案内人のお店選びにはシャッポを脱がざるを得ない。昼にお勧めの鞆町のイタリアン料理の素敵な店、夜は地蔵通りにあるお好み焼きと鉄板焼きの店「八誠」で、ご当地牡蠣のバター焼きはもちろんのこと、牛や牛たん、ホルモン、アワビ、ウニほうれん（そう）、もやし、サトイモチーズ、ピザ等の多彩な鉄板焼きが次々と出てくる。焼きそば、そして待ちかねた広島風お好み焼きが出て来る頃にはすでにお腹いっぱいになってしまう。それでもソースにマヨネーズをたっぷりつけて口に運ぶと、幸せ感がジュワーと口の中に拡がり思わず笑みがこぼれてしまう。ビール、日本酒そしてレアもの麦焼酎「百年の孤独」をストレートで頼むとコップ一杯700円とは気がいい。最後の締めで行ったのは胡町の元巨人軍の清原選手などが行きつけの、広島風つけ麺の店「みんみん」ここで辛さが選べるが、中辛（6辛）を頼むと、鳥ガラスープに独特のゴマと酢と唐辛子、ゴマ油などの入ったツケ汁で野菜てんこ盛りの独特のストレート細麺をつけ、口に運ぶと、強烈な辛さが襲って、思わずせき込む。辛さと膨れた腹に詰め込もうとする2重苦に汗も加わり涙目になる、胸焼けが襲う。食べきるのがやつとで、喘ぎ喘ぎの一幕で、せっかくとった名物の小天むすにまでは手が出なかったほどの余裕のなさ、情けなさであった。翌日の帰りには昼、銀山町讃岐うどん屋の「忒の店 乃きや」で、腰の強い讃岐うどんが出て汁がよく出ているアサリうどん、一口サイズの揚げたて山盛りのイカ天、それにおでん、いずれも美味しく感激した。こじんまりした飲食店が目白押し、路面電車が便利な広島は何とも美味しい店がゴロゴロしている多彩な食文化を持つ街である。

◇最終損益は赤字基調で推移

さて、年末になったので、恒例の2012年印象に残った出来事を振り返ってみたい。昨年が東日本大震災や福島原発事故、タイ大洪水と巨大な災害が相次ぎ保険業界もその対応に追われた年となったが、本年は個々にはいろいろな出来事はあったが、強烈な印象を与えた出来事は思いのほか少なかったのではない。

2012年の損保業界で、一番印象的だったのは、構造的な収益悪化のマイナス連鎖から抜け出せずにもがいた1年であったことだ。2011年度（2012年3月末）決算は業界全体で赤字基調の最終損益を計上したが、2012年度は、本業の損保は、エコカー補助金効果や地震保険の付保拡大などもあり、自動車、火災といった主力商品が増収基調で、当初は、順調V字回復予想を立てるも、4月の爆弾低気圧による損害や米国ハリケーン「サンディ」損害もあったのに加え欧州債務危機の影響で株価が大きく下がったことにもなる有価証券評価損の影響などで、損保大手各社とも最終損益の下向き修正に至っており、2013年3月末の最終損益では黒字幅の圧縮や赤字との見通しも出るなど、厳しい決算見通しとなりそうだ。損保事業を取り巻く事業環境の厳しさ、不透明感が色濃く出た1年となった。

◇損保大手で大胆なコストカット施策

ここ数年、損保業界では事業改革が急激に進んでいる。各社とも100%を超え赤字基調のコンバインドレシオ（損害率と事業費率の合計、100%以内に抑えると保険事業で黒字になる）をいかに圧縮し、黒字の割合を高めるかが問われている。保険料収入増を目指す一方で、損害率改善、事業費圧縮を進めなければならない。2012年は、いよいよ本格的なリストラ、人員削減を含め経営展開が新たなステージに入ったことを印象付けた。業務プロセスのシステム化は、保険会社の内務部門にとどまらず、販売現場にまで及んでおり、顧客接点での業務完結態勢確立に向け先端情報機器の活用も進む。バックヤードの効率化を進める一方で、営業推進部門への女性の戦略的登用も進み、会社によってはこの5年で、他の分野（海外、生保、直営代理店を含めた関連会社）へのシフト等で男性営業担当の4割削減を進めたところもある。2014年秋の損保2社合併を予定しているNKSJは、前倒しで管理部門の統合や重複拠点を中心に大幅削減を図るとともに、400名の希望退職募集とともに、自然減や他成長分野へのシフト等で、3カ年で約5000名の人員削減策を打ち出すなど、経営効率化に取り組みは本格化している。

◇金融審議会での商品、販売ルール見直し論議

金融審議会は2012年6月から「保険商品・サービス提供の在り方」ワーキンググループで、多様な消費者ニーズへの対応と募集、商品説明手順の向上等を目的とした検討がされた。新たなマーケット環境を踏まえ、現物給付などの規制緩和、乗合とブローカー問題、手数料開示、変わる販売の在り方等多方面にわたり、また今後の保険募集・販売環境に大きな影響を与えかねないテーマでの論議が進められた。中でもニューチャネル、全国規模の巨大代理店の出現等を背景に、同じ複数の保険商品を扱い手数料開示義務のある保険仲立ち人（ブローカー）と乗合代理店の整合性の確保や、契約者への忠実義務のルール化など透明性を高める方策を検討、消費者が保険を比べて購入する際の判断材料を増やす。2013年中に結論を出し、必要な制度改正を図るとされるが、募集・販売面で大きな転機を迎えることになりそうだ。顧客に支持されるモデル開発を含め、代理店の立ち位置、事業モデルが鋭く問われるところとなっている。

◇自動車保険等級制度改定

先々の収益改善を図るため、自動車保険のロス対策へ手を打った年でもあった。自動車保険の損害率の構造的悪化に対する収益改善策として、高齢ドライバー層を中心にした保険料引き上げに続き、損保各社は第2弾として、事故を起こしたドライバーの保険料の大幅引き上げ措置をとった。2012年10月から自動車保険の無事故割引等級制度を見直し、事故を起こした場合は等級ランクは3ランク下げと変わらないものの、最大6割の引き上げでしかも3年固定とする他、据え置き事故制度を廃止し1年1ランク下げとした。実際の保険料適用は1年後の2013年10月以降からとなるが、顧客への的確な情報提供など新制度の周知徹底が求められる。

◇地震保険に高い関心、制度見直し論議も

地震リスクへの備えとしての保険に対する関心が急激に高まったことも印象深かった。2011年3月11日の東日本大震災以降、家計地震保険に対する関心は被災した東日本の各地で軒並み顕著に高まり、全国的にも2011年度の付帯率は50%を超えるまでになった。また、今後の南海トラフ巨大地震への懸念も出てきているだけに制度の在り方そのものへの関心も高まった。政府は2012年4月から財務省の地震保険制度を見直す検討チームで、保険料の水準などを含め、制度見直しの検討を行い、東日本大震災を踏まえ、地震保険制度の全面的な見直しを求める報告書を取りまとめた。宮城県沖を震源とする地震に加え、今後予想される南海トラフ巨大地震の被害想定も新たに保険料率に織り込むことを提言。被害想定が現実なため、保険料率は大幅に引き上げられる公算が大きくなった。地震保険の見直しは1966年の創設以来初めて。財務省はこの報告書を踏まえ、早ければ2014年春をめどに制度を改定する方針。ただ、南海トラフ巨大地震をめぐっては政府が現在、被害想定基礎となる「震源モデル」を再検討しており、作業完了を待って詳細を詰める。

一方、損保各社は東日本大震災以降、企業向け地震拡張担保の保険料を引き上げた。市場規模は500億円程度で大手損保が主として引き受けている。2012年度の契約が対象で、前の年度に比べて平均で1割超値上げで上げ幅は過去最大。再保険料が3割程度上がったため一部企業に転化することにしたものだ。

◇保険ショップの存在感高まる

保険ショップの拠点造成がキューピッチが進むなど、ニューチャネルの動向がいろいろ問題になった年でもあった。金融審議会の論議でも全国規模の巨大独立系兼合代理店に対する販売ルールの在り方が問題になる程、市場に定着した感がある。ほけんの窓口、保険クリニック、保険見直し本舗、みつばち保険ファームの保険ショップ大手4社の店舗数(約750)は、2013年度に約5割増の約1100、15年度には2.5倍の約1900になる計画だ。また人員面でも現在の約7割増の約4100人になる見込みだ。急激な拠点出店の背景には生保の前倒し手数料払いなども影響しており、生保の手数料施策が今後どうなるかも予測を許さない。

保険ショップの拡大は、保険の見直し、比較購入を好む消費者の意識変化が背景にある。当初は生保・医療保険主体だったが生保全般から損保まで含めたフルラインの保険相談態勢をとるところも出てきている。また保険ショップ以外に訪問販売部隊の構築、ウェブを活用した集客、地域有力代理店の取り込み、銀行などとの提携ショップ展開、ショップ人材研修事業の強化、保険は相談のみならず生活全般の相談窓口化など多様な展開をとるところが出てきている。

◇損保の海外リスク管理能力問われる

損保の海外事業展開の在り方に警鐘が打ち鳴らされるとともに、海外リスクに対する損保の経営姿勢が問われた年でもあった。タイ大洪水に伴う保険金支払い額は、約5000億円に上り、2012年度決算の膨大な赤字の主因になった。大手損保は地震や台風などの自然災害に収益が左右される構造を是正する目的で、海外事業や生保事業など多角化を進めるが、これに伴う国内外の複雑なリスクを把握するために「統合リスク管理(ERM)」と呼ばれる手法を採用し、計量化したグループ全体のリスク量が時価ベースの純資産の範囲に収まるよう管理してきたが、海外事業のリスク計測が甘かった可能性は否めない。金融庁も「保険財務基準・リスク分析室を新たに立ち上げ保険会社のリスク管理への監視を強めた。

2012年9月には中国での反日デモで日本企業の商業施設や工場が従来の想定を超える被害を受け、その保険金支払額は国内損保社全体で数十億円から100億円程度にのぼる。中国に進出している大半の日本企業は施設や設備にSRCC(ストライキ危険)特約付き火災保険をかけているためだ。暴動後、損保各社は特約につき引受制限措置を講じるなどの対応を図った。

◇少額短期保険やモバイル保険が好調

従来の保険会社の手の届かなかった隙間市場に向けてミニ保険の取り組みが活発化した年でもあった。ペット保険や家賃保険、チケットガード保険、糖尿病を抱える人を対象にした保険などの少額短期保険が伸びている。少額短期保険は69社の6割が2011年度に単年度黒字を確保した。一般の保険商品より需要規模は小さいものの、月額保険料が数千円程度と安くシンプルで仕組みに加え、景気低迷で保険を見直す人が増えていることが追い風になっている。

また、一種のモバイル通販商品が多様化している。1日からワンコイン(100円~5000円)で加入でき、その種類も、レジャー・スポーツ保険から自転車保険などの分野に広がった。2012年1月からモバイル大手3社と提携して東京海上日動が販売開始した1日自動車保険「ちょいのり保険」は通販的な商品でありながらオールチャネルで取り扱い可能にした。9月時点で10代から20代の若者層を中心に20万日の販売実績を示した。クルマ保有時の保険料割引特典を付けるなど車離れの若年層をつかみつつある。

◇タブレット型端末やアプリ導入で変わる代理店営業

新たな情報ツールの登場が保険代理店の営業も様変わりの様相を呈した年でもあった。損保大手が相次ぎタブレット型端末の代理店営業現場への投入を開始した。これにより、顧客接点での代理店業務完結化が図れば、保険会社の業務の在り方も抜本的に様変わり、大幅な合理化・効率化が図れ、事業や組織の在り方が変わる。保険会社女子内務社員の現場営業部門へのシフトもこれと符合している。代理店にとってもタブレット型端末画面上の電子パンフレットを活用したり、動画やアプリを活用し顧客とのコミュニケーションやプレゼンテーションの在り方を工夫する事が可能になるなど、顧客接点での提案スタイルがガラリと変わる。また、損保各社が相次ぎドライバーのスマートフォン(高機能携帯電話)向けサービスも強化し、事故の際の対応支援や事故防止のための運転診断などを提供するなど自動車ドライバーの意識改革に乗り出した。

◇損保代理店が19万店に減少

損保協会集計の代理店実態調査で2012年3月末時点で前年同期比2.5%減の約19万7000店と、約40年ぶりに20万店を割り込んだことも特記される。バブル崩壊後の90年代後半、収入保険料の伸び悩みで代理店数は減少に転じたのに伴い、損保各社は大手損保を中心に販売網の効率化を進め、規模による手数料格差や成長性や品質強化を打ち出し、統廃合を促した。さらにここ数年損保各社は事業収益の急激な悪化から、一層のコスト削減を迫られ営業拠点の大幅削減を断行しており、これに伴い、代理店の、整理淘汰、統廃合も一段と進みそうだ。

◇その他印象に残ったこと

代理店の経営にとって手数料体系の変更も大きな影響をもたらす。このことがより鮮明化した年でもあった。現状維持代理店ではギリ貧乏化せざるを得ない時代を迎えた。各社とも地域での中核代理店モデルとして一定の基準(規模・陣容やシステム化、生損保取り扱い、コンプラ対応)をクリアした組織代理店を認定する制度を設け、代理店手数料ポイント面でも優遇するスタンスを明確にし、対象とならない小規模代理店は大幅にポイントダウンを被ることになり、事業の存続や合併、直営代理店や有力他代理店の使用人、廃業など厳しい進路選択を問われる形をとっている。こうした中で規模を問わない独自の品質基準を設けサポートしようとする独自の代理店施策をとるのが日新火災で中小規模代理店との取引を増加させているのが注目される。また、代理店のブランディングがクローズアップした年でもあった。地域の専門プロ代理店が、自らの品質、専門性、こだわりを事務所外観や内装、コンサルルーム、看板、統一的カラー、パンフ、ホームページ、広告、従業員の服装、立ち居振る舞い、社会的認定資格などサービス品質見える化を図る努力をしつつあることだ。こうした代理店のブランド構築は今後ますます重要になる。日本郵政グループは改正郵政民営化法のに基づき2012年10月から再スタートしたのを機に、新業務進出として、かんぽ生命の死亡保障を低くした分保険料を安くした新学資保険、ゆうちょ銀行の住宅ローン参入、法人貸し付け分野への2013年4月をめどにした参入を求めている。民間金融機関からは競争の公平性が損なわれるとの批判も踏まえ、第3者機関の郵政民営化委員会を中心に慎重に審議していたが、不払い問題への対策を勧奨し、金融庁は認可を先送りした。明年新政権下でどのような展開になるか注目される。

法人マーケットは損保の未開拓分野が多く残された、成長が見込まれる今後有望市場とされる。すでに2012年にもすでに先端分野向けの新商品や、保険料を思い切って圧縮した商品などその走りがいくつか出てきたが、この分野への新商品の投入合戦が今後活発化するものと見込まれる。

生損保一体型の超保険が、2002年6月発売、2012年6月で販売10周年となった。この間商品体系の抜本改定もあり130万世帯以上に普及するまでになった。コンサル型の価値共創型モデルの展開として専門プロ代理店の仕組みの在り方に一石を投じた。宣伝臭くなるが、2012年12月に筆者の監修で『超保険進化論』(インスプレス・績文堂出版刊)

<http://www.inswatch.co.jp/book/book200.htm>として、その現状、課題、事例、代理店経営への貢献度ない等につき分析・提起しているの一読されたい。(保険ジャーナリスト、inswatch編集人)

落合宿から中津川宿へ

中山道は、美濃十六宿の最初の宿、落合宿に入ります。落合宿本陣の門は、文化12年（1815）にあった本陣の火事の後、加賀藩が贈ったものです。

加賀藩の参勤交代は、金沢から日本海沿いに越中から越後に入り中山道から江戸に向かうルートと、金沢から越前、近江と回り江戸に向かうルートがありましたが、190回の参勤交代のうち、越中経由がほとんどで、近江経由の東海道経由は7回、中山道は5回という少なさです。それにも関わらず、加賀藩が落合本陣に火事見舞いで門を贈りましたが、百万石という加賀藩のメンツかもしれません。ちなみに文化12年以後、加賀藩が中山道を利用したのは2回のみです。



落合本陣には善昌寺の裏に向かう抜け道がありますが、これは本陣に宿泊した殿様が賊に襲われた時、避難するためのものといえます。

また落合宿の道路の真ん中に、かつては防火用の水路が流れていたのですが、現在は埋め立てられています。道路の真ん中に水路がある宿場は、北陸（北国）街道の木之本宿などでも見られました。

中山道は、道の方に伸びている松が印象的な善昌寺の所で折れて落合宿を離れます。

次の中津川宿までの中山道は、坂を登ったり下ったり、急カーブを曲がったりと起伏にとんでいますが、集落が点在する段々畠や水田を通っており、眺めが良いところもあります。



中津川宿までの途中には、木曾義仲に仕えた落合五郎の城があったという「おがらんさま」や、御岳信仰ゆかりの行者覚明をまつる覚明神社、無数の地蔵が集められた「子野地蔵堂石仏群」、さらには尾張藩が運搬されてきた白木（板材）を改めた「白木番所」の跡を通ります。「白木番所」は、尾張藩の「木一本、首一つ」という桧を始め木曾五木という針葉樹の保護政策のために設けられた番所の一つです。

中津川宿に入る手前の旭ヶ丘公園の傍らに「はだか武兵」の石碑がありますが、ふんどし姿で木曾路や美濃路で箆かきをしていた武兵が、病に倒れたさる西国の姫を一晩で直したという伝説が残っています。飛騨街道の下呂市金山町菅田にも「はだか武兵衛」の似たような伝説が伝えられています。さて、同じ人物だったのでしょうか。

（まつお・いち） ライフワークは地域史（近世交通史）。
著書は『飛騨街道紀行』『北陸街道紀行』等多数。

SHINWAグループの愛車メンテナンス教室 V o 1 ・ 5

SHINWA グループ 会長 伊藤 彰浩

平素は SHINWA グループにご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

慌しい年末に政権交代の夜明けを垣間見て、すぐそこに新しい年を迎えようとしています今日この頃です。

さて、皆様はご自宅の大掃除は終わられたでしょうか？大切な愛車の大掃除はいかがですか？洗車機かけて終わりですか？ここで少しじっくりのお話をさせていただこうと思います。「あまり聞きたくなかったなあ～」と思われるかもしれませんがご家族のためと思って聞いて下さい。皆さんは大切な愛車の外はワックスかけたり、ポリマーシークを再施工したりはされますよね・・・でも車の中はというとせいぜい掃除機かけたりまでですよ・・・できる事なら年に1回でもいいので、車に住み着いている「ダニ」の退治をされてはいかがですか。びっくりされるかもしれませんが車の中には家の中よりダニが多く住んでいるといわれるくらいダニには居心地の良い所なのです。数十万匹ともいわれるダニがいたという例もあるくらいです。たしかに車の中は防犯のために窓を開けっぱなしにする事は無いし、雨や雪が降れば濡れたままの靴で乗り込んで乾かすことも無いし、足マットはめったに洗う事も無いので、ダニにしてみれば家より住みやすいと思います。エアコンの中は隠れ家になるし、当然ダニの死骸もたまったままになるので、子供さんがよくアレルギー症状を発したりする原因のハウスダストよりも実は車の中は強烈なのかも・・・ではどうしたら良いかなのですが、家ではダニアースとかでダニ退治します。あれは別に家専用でもないわけで、車も同じ事をすればいいのです。エアコンをつけて内気循環にして小さめのダニアースで退治。終わったらよく車の中の空気を入れ替えればいいのですが、問題は死骸です。

0. 1～0. 2ミリの大きさなので、小さな白い埃に見えますが、よく見るとまさかダニの死骸とは・・・家では窓を開けて掃除機で吸い取れば大丈夫なのでしょうが、車の中は掃除機で吸って、強力なエアで飛ばすといいのです。が、一般家庭にコンプレッサーはないのでエアで飛ばせません！！

そこでダニ退治も私共グループにご相談下さればお力になれると思います。車の事ならなんなりとご質問下さい。

SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣市)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野钣金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田钣金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島钣金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田钣金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108
三田自動車工業 (西濃地域全般・大垣市・垂井・養老)	0584-91-7381	0584-91-7379



SHINWA グループは、代理店の皆様、そして契約者様のメリットを常に考えての情報や新たなご提案が提供できるように日々努力して参ります。

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

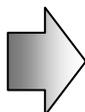
外壁とシャッターに落書きをされてしまいました。
このままにしておくともどンドン落書きは、広がってしまいますので、早く消すことが大事です。

< 場所 > 岐阜市地域

< 費用 > ￥103,950- (税込)

被害状況

復旧後



☆季節のリフォームカレンダーを掲載します。ご参考になれば幸いです。

リフォーム・カレンダー

1月

2月

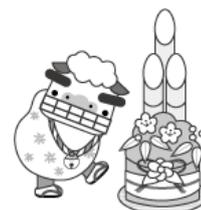
▼1日 <元旦> <成人の日> ▼15日 <大寒> ▼1日

【外回り】水道管の凍結対策 / 屋根・雨樋の補修

【内廻り】寒さ対策/消火器等火災対策/大規模工事計画

●ゴキブリ駆除はこの時期が最適です。

お気軽にご相談下さい。



岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株) イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

交通事故による損害復旧工事

No.0113

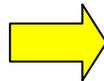
名古屋市中村区地内

ガードパイプ復旧工事

復旧工事費用

178,000円

着工前



着工後



* 市街地の交通量の多い場所での作業となり交通誘導員を設置して作業しました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

ご存知ですか?・・・『NASVA』

NASVA とは、独立行政法人自動車事故対策機構の英訳名 (National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid) の略称で、「ナスバ」と発音します。

自動車事故の発生防止及びその被害者への援護を主な目的とした国土交通省所管の独立行政法人であり、その運営形態、業務範囲などは独立行政法人自動車事故対策機構法によって定められていて、本部は東京都千代田区にあり、国の特殊法人自動車事故対策センターの業務を承継して 2003 年に設立されました。

その概要は「守る」「防ぐ」「支える」をスローガンに自動車事故防止と自動車事故被害者支援を業務の柱としています。

守る：安全な車選びのため、自動車アセスメント情報を公開

防ぐ：事故の防止のために、各種講習を実施

支える：事故被害者の支援のために、各種資金提供及び療護施設を設置運営

その中の支えるという業務の中に自動車事故の被害に遭われた方のために交通事故被害者援護制度があります。

(1)交通遺児等貸付 (交通遺児の方への無利子の生活資金の貸付)

交通事故により保護者が死亡あるいは重度後遺障害となり、経済的困窮に陥った子弟の健全な育成を図るために、ゼロ歳児から中学校在学者までの交通遺児等を対象として無利子の育成資金貸付を行っている。

また、この貸付金を利用している交通遺児等とその家族を会員とする「友の会」を設け、様々な行事や活動を通じた精神的支援を行っている。

(2)重度後遺障害者の援護 (療養施設の設置・運営)

交通事故による脳損傷によって重度の後遺障害が残り、治療と常時介護が必要となった者のうち、特に症状が重い者を対象に、高度先進医療機器を用いた検査結果をもとに、治療と看護を行う専門病院として全国 4 か所に療護施設を設置・運営している。

また、全国 2 か所の一般病院に同様の療護施設機能を有する委託病床を設置している。

療護センター 東北療護センター (仙台市)
千葉療護センター (千葉市)
中部療護センター (岐阜県美濃加茂市)
岡山療護センター (岡山市)

(3)介護料の支給 (重度の後遺障害の方への支給及び助成)

交通事故により脳、脊髄または胸腹部臓器に損傷を受けたために、重度の後遺障害が残り、移動・食事・排泄などの日常生活動作に常時または随時の介護が必要となった者を対象に、介護料の支給及び入院費用の助成を行っている。

—自動車事故の被害に遭われた方へ—
NASVA被害者援護制度のご案内
NASVAの交通事故被害者援護制度をご存じですか。
交通遺児等の方への
無利子の生活資金の貸付
重度の後遺障害をおかれた方への
介護料の支給
遅延性意識障害者の方のための
療養施設の設置・運営
を通じて交通事故被害者とそのご家族を支えています。
NASVA 独立行政法人
自動車事故対策機構
ナスバ 検索
東京都千代田区麹町6-1-25上智麹町ビル
詳しいパンフレットもあります。ご請求下さい。

詳しい内容をお知りになりたい方は独立行政法人自動車事故対策機構、NASVA で検索いただくか、県代協事務局まで連絡ください。

発行日／平成24年12月25日

責任者／近藤信悟 発行／広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】笠城 茂、北村篤俊、和田英樹、水川博之、安江努、馬場浩之、
近藤信悟、小西恭弘、森 信彦